おおたま学園コミュニティ・スクール便りNo.8

大玉村では小さな自治体のメリット生かし、村民一人一人がつながり、共に支え合い、学び合って、「みんなで支え、みんなで育て、みんなが育つ」ための教育改革を進めてきました。コミュニティ・スクールは教育改革の大きな柱の一つです。

コミュニティ・スクールとは、学校運営協議会を設置した学校のことを指し、「地域とともに有る学校づくり」を進める仕組みです。この制度を運営するコミュニティ・スクール委員会には次の 3 つの大きな権限が認められています。

①校長の作成する学校運営の基本的な方針の承認する。
②学校運営に関する意見を教育委員会又は校長に述べることができる。
③教職員の任用に関して教育委員会に意見を述べられる。

コミュニティ・スクール委員会では「真のサポーター」として意見できるように、学校で取り組んでいる事を理解した上で、地域でできること、家庭でできることなどについて、みんなが知恵を出し合い実践しています。

コミュニティ・スクール委員会で取り上げるべき課題は多岐にわたるため、今年は重点課題を中心に協議を重ねていくことにしました。

今年度の取り組みの重点

◎「学校運営に関する意見を教育委員会又は
　校長に述べることができる。」権限の強化
◎人権教育の推進

コミュニティ・スクール委員会では年間スケジュールを立てて取り組みを進めていきます。

平成 26 年度　年間スケジュール

4 月　　コミュニティ・スクールについての説明会（各学校・園の PTA 全体会にて）
5 月～　年間 8 回の CS 委員会と役員会
10 月　　視察研修（地域とともにある学校づくり推進フォーラム）
2 月　　大玉村教育フォーラム開催

PTA全体会でのPR

『コミュニティ・スクールってなんだっけ？』
『おおたま学園ってなんだっけ？』
をテーマに保護者に向けて説明をしました。

役員会・委員会の様子

役員会〔5 月 8 日〕
　会長、副会長、学校長、各部会長で構成し、CS 委員会の事前協議をしています。
　協議内容を整理して臨むことで会議の効率化が図られています。

コミュニティ・スクール委員会[6 月 23 日]
　学校運営協議会としての機能を発揮するためには学校のことをもっと知る必要があります。
　そこで会場を中学校に移し委員会を開催しました。教職員はほぼ全員参加して教育に対する思いを話して下さいました。

今年度お世話になる２１名の委員の方々（敬称略）

・**境野健兒**（会長:学識経験者）

・**後藤みづほ**（副会長:地域住民）・**藤田安宏**（副会長兼子ども・家庭支援部会長:地域住民）

・**渡邊健順**（大玉中学校長）・**猪狩仁**（大山小学校長）・**松本公秀**（玉井小学校長）

・**久保寺徹**（大玉中学校）・**渡辺典子**（大山小）・**安部信一**（玉井小）

・**大谷利香**（大山幼）・**佐藤文江**（玉井幼）

・**野内文孝**（学校支援・地域教育部会長:地域住民）・**橋本哲夫**（広報部会長:保護者）

・**伊藤和弥**（保護者）・**遠藤かおり**（保護者）・**遠藤守雄**（地域住民）

・**小沼茂**（地域住民）・**金丸厚子**（保護者）・**松井博次**（地域住民）

・**山口勝美**（保護者）・**渡邊八千代**（保護者）

　コミュニティ･スクールがスタートして４年目を迎え、委員さん一人一人の思いを会議の中で率直に話せる雰囲気になってきたように思います。学校の先生方と地域住民が直接話し合う場があるというのは実はとても貴重なことです。このすばらしい制度をもっと活用して、大玉村の良さをもっともっと引き出していきたいと思います。これからもみな様のご協力をお願いいたします。

コミュニティ･スクール　コーディネーター　伊藤由美子

H26/7/11 発行　おおたま学園コミュニティ・スクール委員会
（事務局：大玉村教育委員会内　連絡先：48-3138）